

第39回(平成27年度) 久留米市民意識調査 報告書《速報版》

 水と緑の人間都市・久留米

I 調査のあらまし

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。

今回の意識調査は、①行政施策 ②子育てしやすいまちづくり（子どもがいきいきと学び・遊び、子育てしやすいまちを目指して）という2つのテーマについて実施しました。

1. 行政施策

久留米市への愛着度、住みやすさ、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用します。

2. 子育てしやすいまちづくり（子どもがいきいきと学び・遊び、子育てしやすいまちを目指して）

久留米市の子ども・子育てを取り巻く現状と市民の意識を調査しました。調査は、①「結婚」では未婚化や結婚支援について、②「妊娠・出産」では安全・安心な妊娠出産のための環境について、③「子育て支援」では久留米市の小児医療の認知など、④「子育て環境」では、公園の状況や校区コミュニティの活動について、⑤「学校教育」では、小・中学校や教育行政について、⑥「文化芸術・読書」では子どもの文化芸術に触れる機会や読書環境について、最後に「子育てしやすいまちづくり」の視点で市の現状評価と市が取り組むべきことについて聞いています。

調査の結果は、久留米市が目指す「全国トップクラスの子育てしやすいまちづくり」に向けた基礎資料として活用します。

(2) 調査方法

- | | |
|------------|---|
| ○ 調査地域 | 久留米市全域 |
| ○ 調査対象者 | 久留米市に在住する満20歳以上の人 |
| ○ サンプル数 | 2,000 |
| ○ 抽出方法 | 住民基本台帳からの二段無作為抽出法 |
| ○ 実査方法 | 調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法
(調査票は封筒に封入したものを回収) |
| ○ 実査期間 | 平成27年7月22日～8月5日 |
| ○ 回収数(率) | 1,736票(86.8%) |
| ○ 調査の企画と実施 | 企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課
実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ |

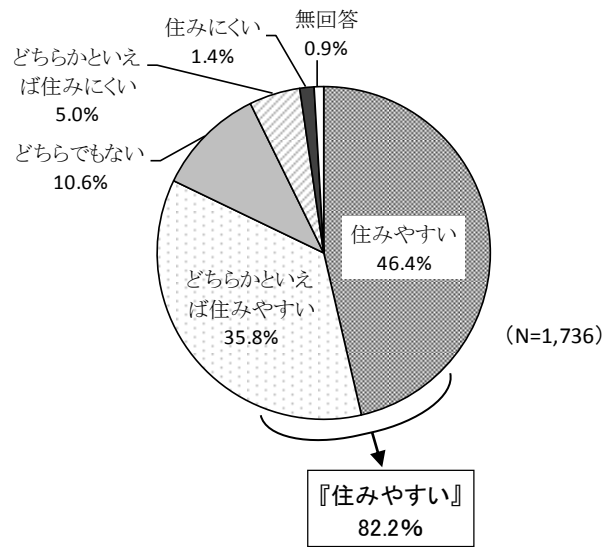
Ⅱ 主な調査結果

1. 行政施策

（1）久留米市の住みやすさと住みやすい理由

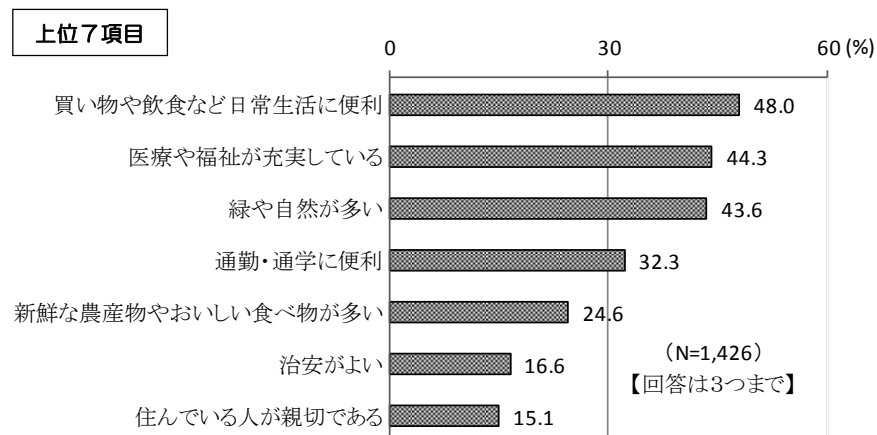
◆久留米市は住みやすいと感じている人は約8割。住みやすいと思う主な理由の上位は、「日常生活の便利さ」「医療や福祉の充実」「緑や自然の多さ」。

問 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



★「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人に

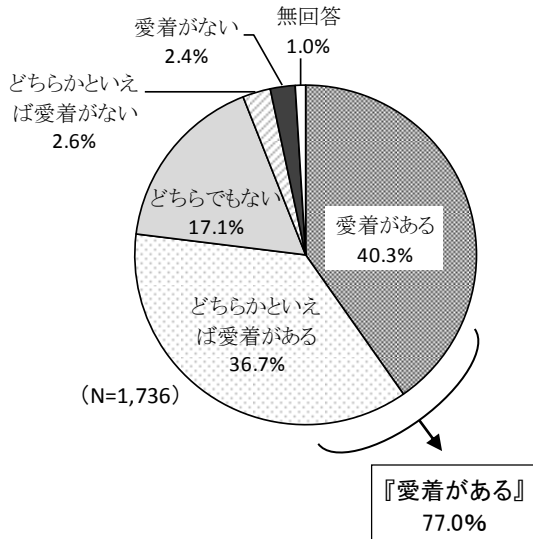
付問 あなたが住みやすいと思う主な理由は何ですか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



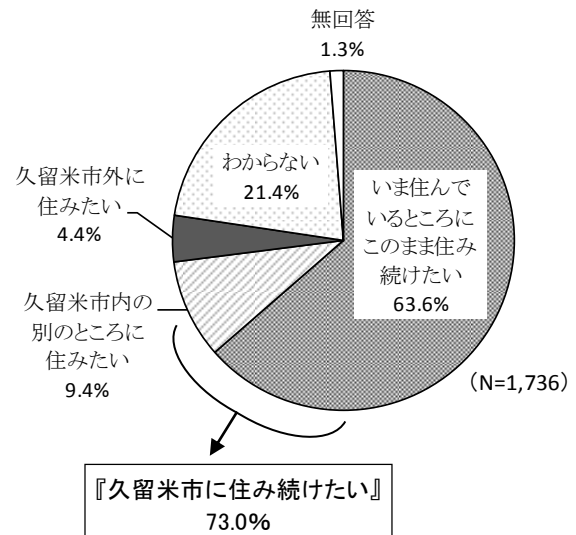
(2) 定住意向、久留米市への愛着

◆約8割の人が久留米市に愛着を持っており、7割を超える人が久留米市に住み続けたいと思っている。

問 あなたは、久留米市に愛着がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



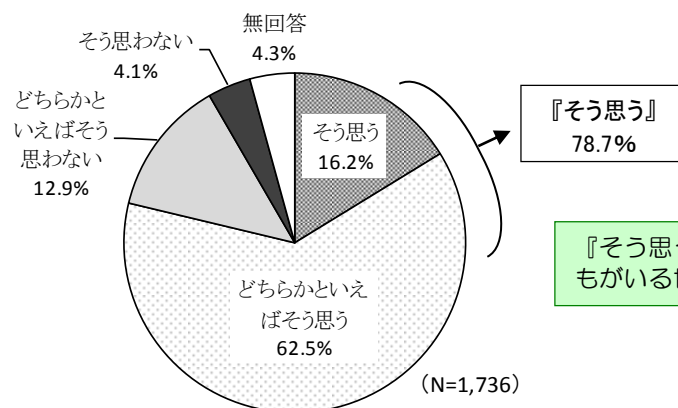
F あなたは、今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(3) 久留米市の子育てしやすさ

◆約8割の人が久留米市は子育てしやすいまちだと思っている。

問 あなたは、久留米市のことを子育てしやすいまちだと思いませんか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

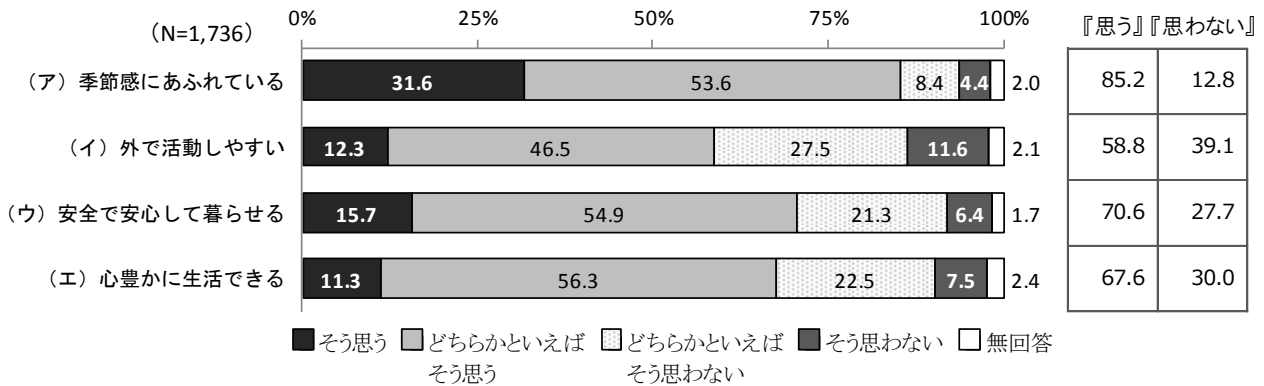


『そう思う』は18歳未満の子どもがいる世帯では82.0%

（4）久留米市の状況

◆久留米市は「季節感にあふれている」（85.2%）と「安全で安心して暮らせる」（70.6%）で高い評価。

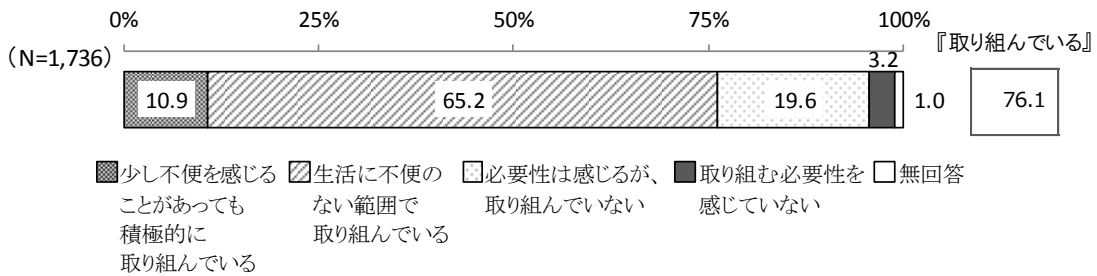
問 久留米市の状況として、次の（ア）～（エ）の事柄について、あなたはどのように思われますか。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印）



（5）環境に配慮した取り組み

◆生活の中で環境に配慮した取り組みをしている人は76.1%。

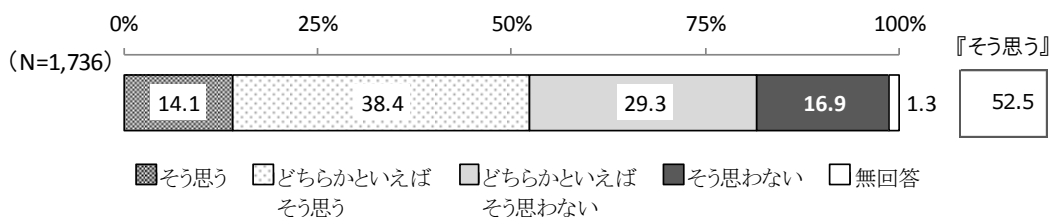
問 あなたは、普段の生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



（6）市民活動への参加意向

◆5割を超える人が校区コミュニティ活動などの市民活動に参加したいと思っている。

問 あなたは、地域をよりよくするために、校区コミュニティ活動や自治会活動、ボランティア活動などの市民活動に参加したいと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

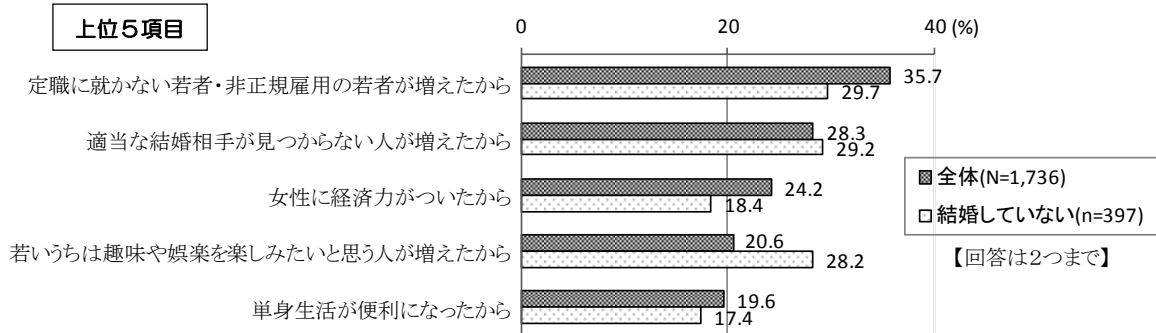


2. 子育てしやすいまちづくり

(1) 結婚する年齢が高くなっている理由

◆「定職に就かない若者・非正規雇用の若者の増加」が35.7%で1位。

問 最近、結婚する年齢が高くなっていますが、あなたはその原因は何だと思えますか。次の中から2つまで（1つでもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。

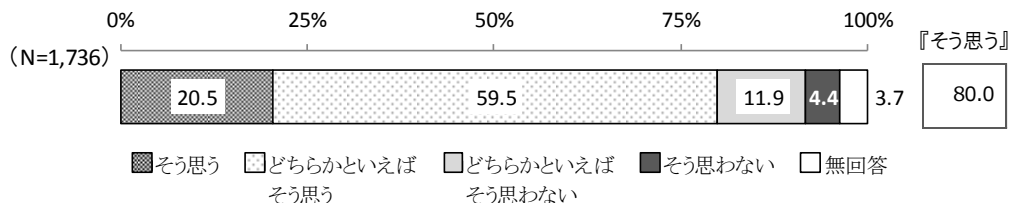


※求められる結婚支援策も、「安定した雇用の場」(52.4%)
「男女の出会いの場」(42.2%)

(2) 安心して妊娠・出産できる環境

◆久留米市は安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思っている人は80.0%。

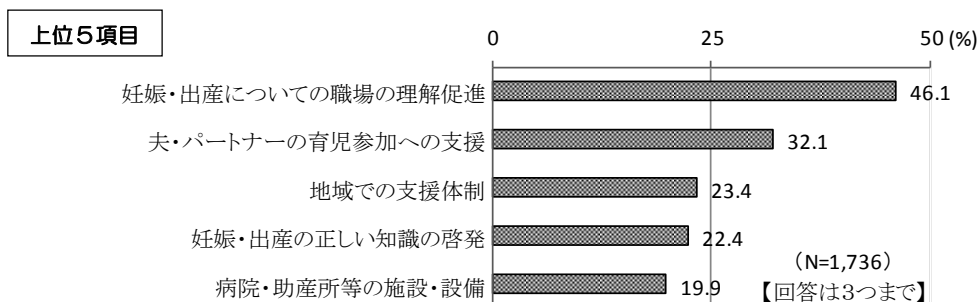
問 あなたは、久留米市は安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思えますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



(3) 安全・安心な妊娠・出産のために必要なこと

◆「妊娠・出産についての職場の理解促進」が46.1%で最も高い。

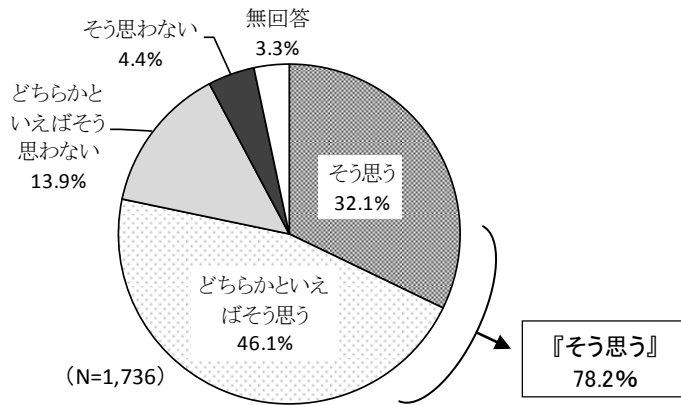
問 あなたは、安全・安心な妊娠・出産のためには、どのようなことを充実することが重要だと思えますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



(4) 小児医療の充実

◆約 8 割の人が久留米市は小児医療が充実していると思っている。

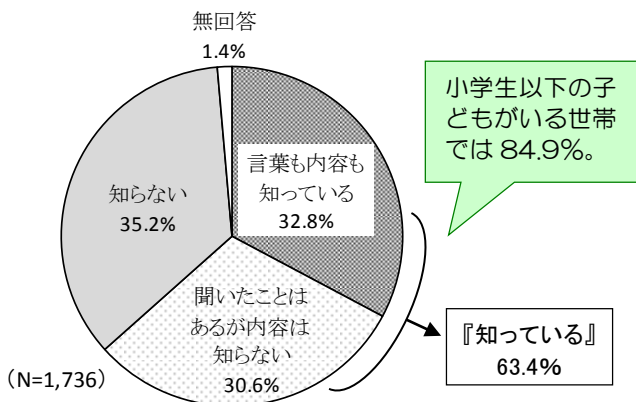
問 あなたは、久留米市は小児医療が充実していると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



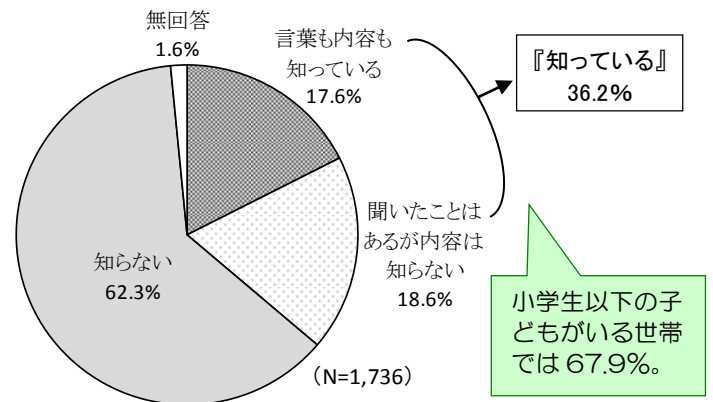
(5) 久留米広域小児救急センター、小児救急医療電話相談（#8000）の認知

◆「久留米広域小児救急センター」の言葉も内容も知っている人は 32.8%、「小児救急医療電話相談（#8000）」では 17.6%。

問 あなたは、久留米広域小児救急センター※を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



問 あなたは、小児救急医療電話相談（#8000）※を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



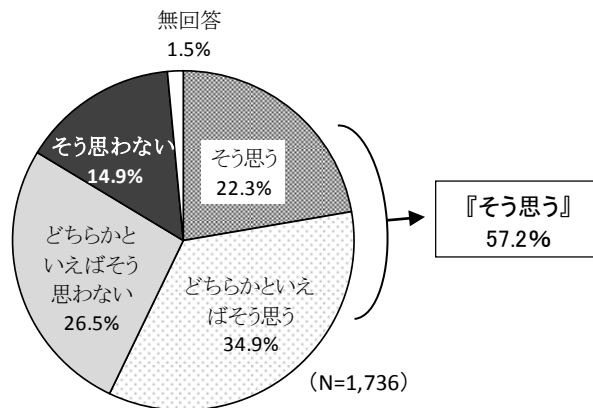
※「久留米広域小児救急センター」とは…
夜間の小児科初期救急診察のため、地域の小児科医の協力と医療機関の連携により、毎日午後 7 時～午後 11 時の間、聖マリア病院に開設されています。

※「小児救急医療電話相談（#8000）」とは…
子どもの夜間の急な病気やケガなどの際、受診すべきかどうか迷ったときに利用できる電話相談窓口です。

(6) 公園・広場の状況

◆6割近くの人が住まいの近くに子どもたちが気軽に利用できる公園が十分にあると思っている。

問 お住まいの近く（歩いて行ける範囲）に、子どもたちが気軽に利用できる公園・広場は十分にあると思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

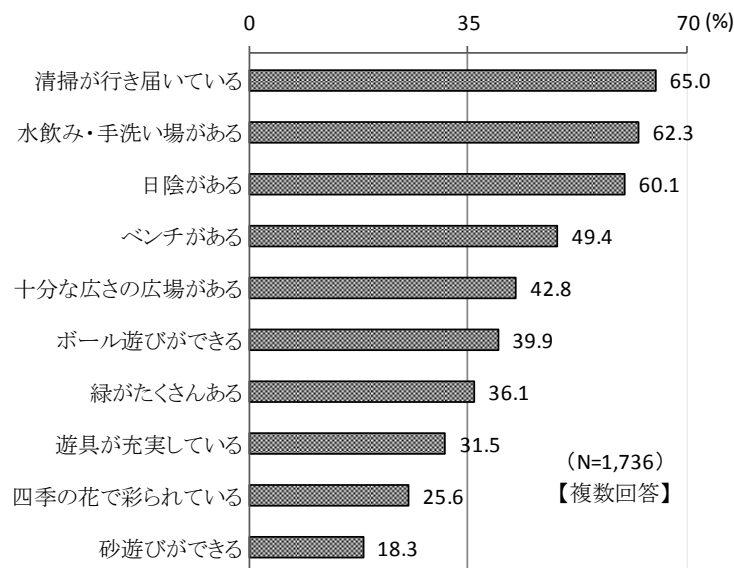


(7) 公園・広場への要望

◆「清掃」「水飲み・手洗い場」「日陰」への要望が6割を超えて高い。

問 あなたは、お住まい近くの公園・広場は、子どもの遊び場として、どのような公園であることが望ましいと思いますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

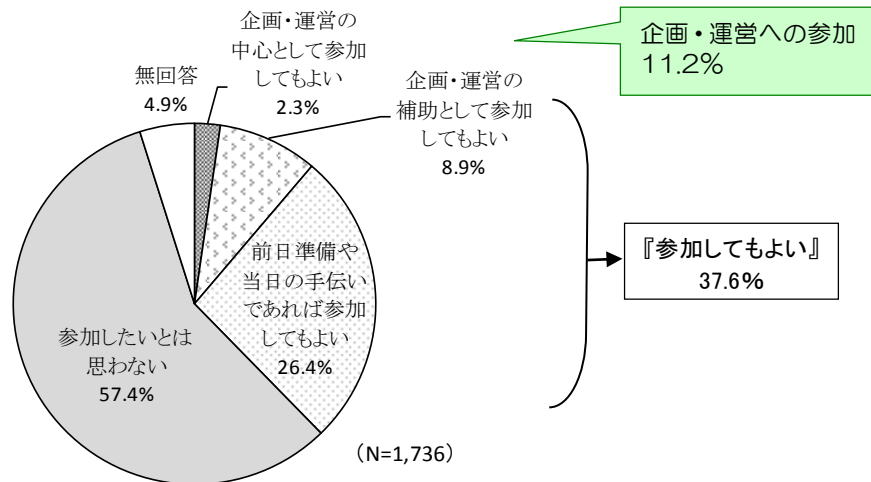
上位10項目



（8）子ども・子育て活動への参加意向

◆子ども・子育て活動に参加してもよいと思う人は37.6%。

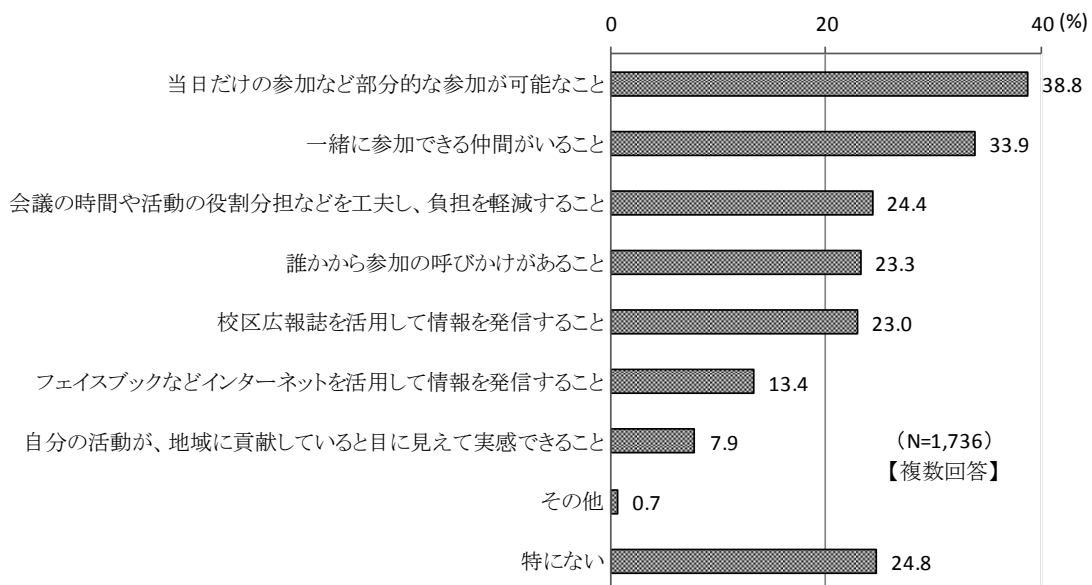
問 あなたは、今後校区コミュニティや自治会で実施している子ども・子育てに関する活動の企画や運営、または当日のスタッフとして参加してみたいと思いますか。
（あてはまる番号に1つだけ○印）



（9）活動に参加しやすくするために必要なこと

◆「部分的な参加ができること」と「仲間がいること」が上位2項目。

問 校区コミュニティや自治会で実施している子ども・子育てに関する活動の企画・運営や当日のスタッフとして参加しやすくするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



(10) 小・中学校で力を入れてほしいもの

◆小学校では「日常生活に必要な基礎知識を身につける教育」、中学校では「生命や人権を尊重する心の教育」が1位。

問 久留米市の小・中学校において、今後特に力を入れてほしいと思われるものはどれですか。(A)小学校、(B)中学校のそれぞれについて、次の中からあてはまるものを5つまで（4つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。

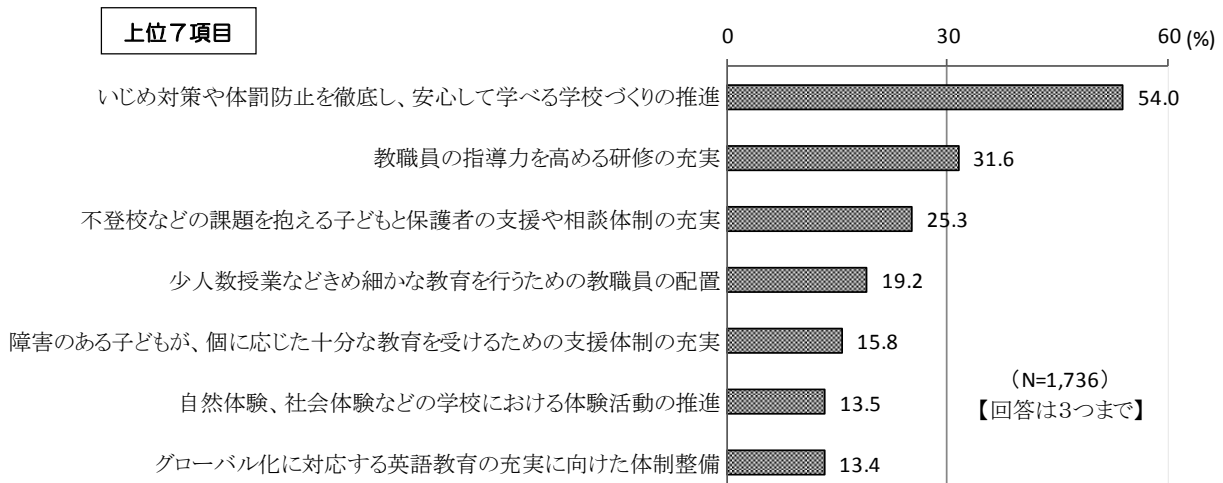
上位10項目 (N=1,736)

〈A 小学校〉			〈B 中学校〉		
順位	項目	(%)	順位	項目	(%)
1位	日常生活に必要な基礎知識を確実に身につける教育	60.0	1位	生命や人権を尊重する心の教育	39.4
2位	生命や人権を尊重する心の教育	44.1	2位	基本的な社会のルールを身につける教育	35.8
3位	基本的な社会のルールを身につける教育	44.0	3位	豊かな人間関係づくりやコミュニケーション力を身につける教育	33.0
4位	健康に生活するための基礎体力を身につける教育	40.1	4位	英語を重視した国際化に対応できる教育	31.8
5位	犯罪や事故から身を守る安全に関する教育	31.6	5位	健康や身体・性に関する知識を身につける教育	31.4
6位	豊かな人間関係づくりやコミュニケーション力を身につける教育	27.4	6位	進学や就職などの将来の進路のことを重視した教育	28.8
7位	自転車の安全な乗り方に関する教育	27.2	7位	日常生活に必要な基礎知識を確実に身につける教育	27.2
8位	英語を重視した国際化に対応できる教育	22.1	8位	スマートフォンなどの利用マナーに関する教育	26.0
9位	食生活や食に関する知識を身につける教育	20.2	9位	犯罪や事故から身を守る安全に関する教育	25.1
9位	障害のある子どもの状態に応じたきめ細かな教育	20.2	10位	働くことの意義を理解し、正しい勤労観を養う教育	23.0

(11) 教育行政に期待すること

◆「いじめ対策や体罰防止を徹底し、安心して学べる学校づくりの推進」が54.0%で1位。

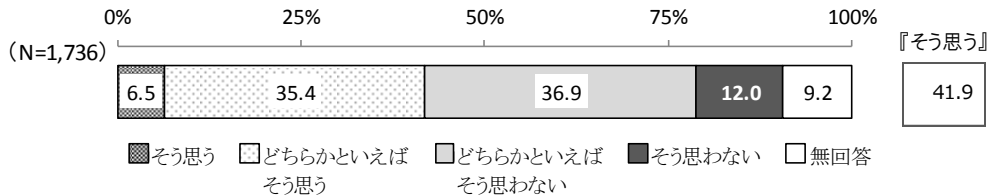
問 あなたは、久留米市の教育行政に関して特にどのようなことを期待しますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



(12) 子どもたちが文化芸術に触れる機会

◆文化芸術に触れる機会が十分にあると感じている人は41.9%。

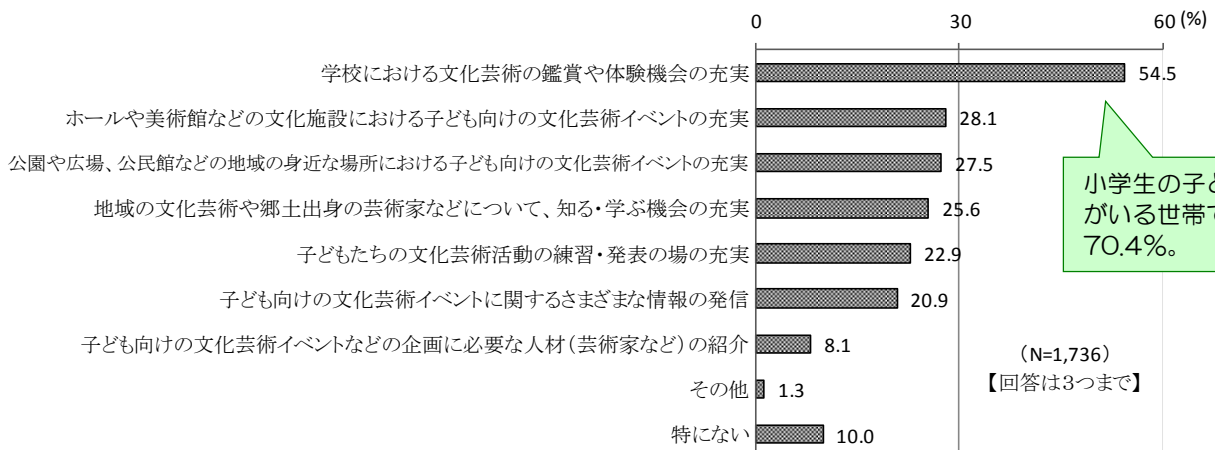
問 久留米市は、子どもたちが、音楽や美術、演劇などの文化芸術を鑑賞したり体験するなど、文化芸術に触れる機会が十分にあると思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



(13) 子どもたちが文化芸術に親しむために必要な取り組み

◆「学校での鑑賞や体験機会の充実」が54.5%で1位。

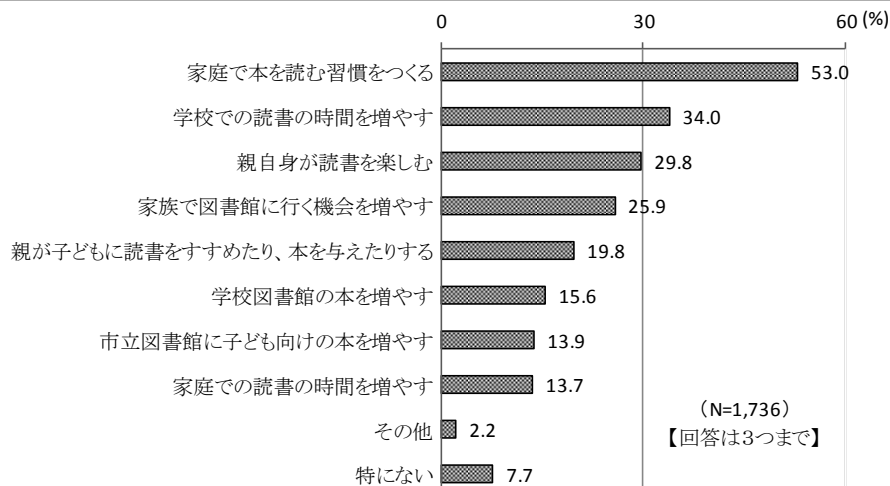
問 今後、子どもたちが文化芸術により親しんでいくために、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



(14) 子どもが本に親しむための環境整備

◆「家庭で本を読む習慣をつくる」が53.0%で1位。

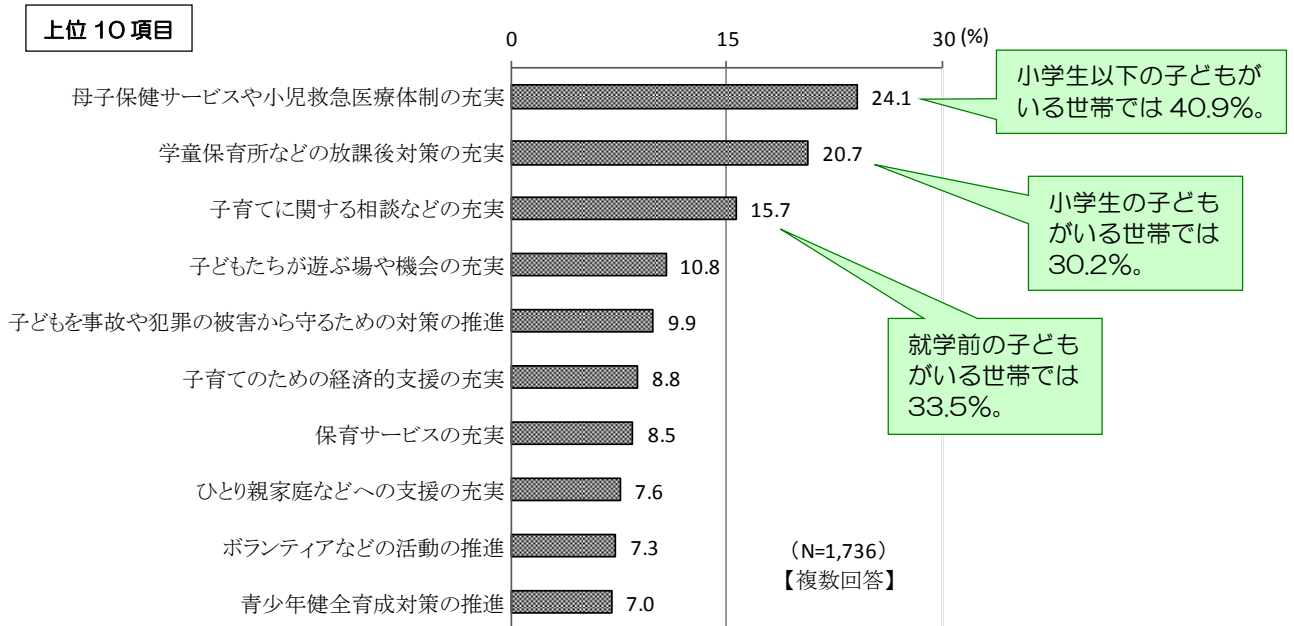
問 子どもが本に親しみ、進んで読書をするために、家庭や学校、図書館はどのような環境を整えればよいと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



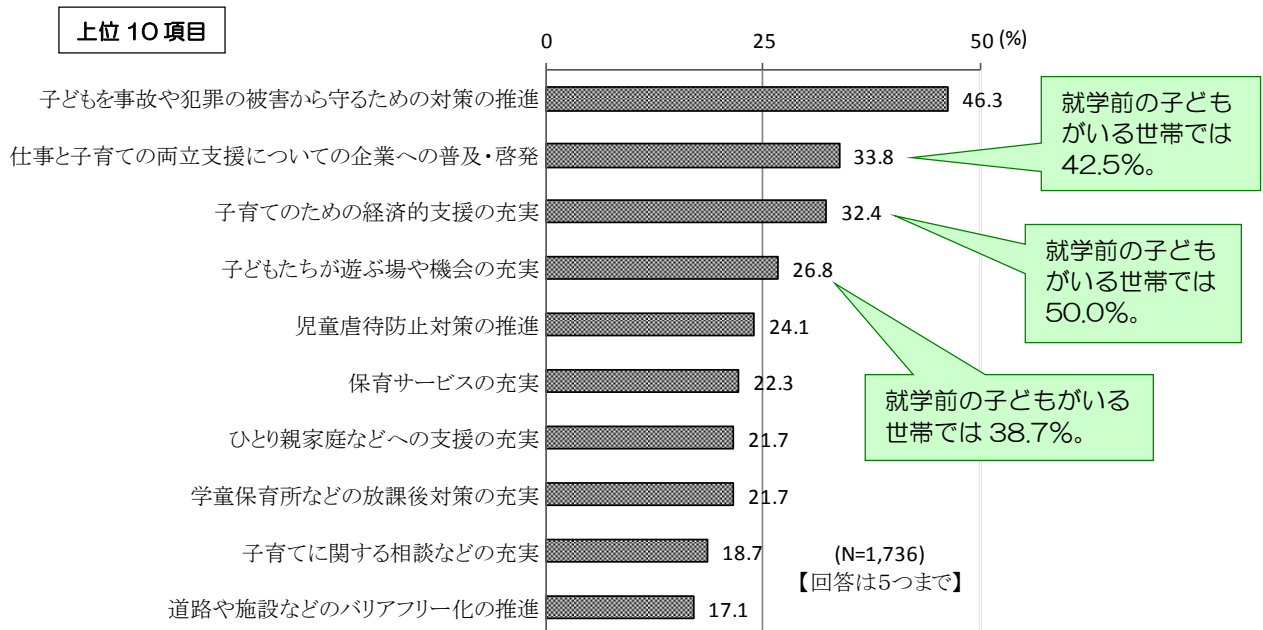
(15) 子育てしやすいまちづくり

◆充実していると思うことは「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」が24.1%で1位。今後特に力を入れてほしいことは「事故や犯罪被害から守るための対策」が46.3%で1位。

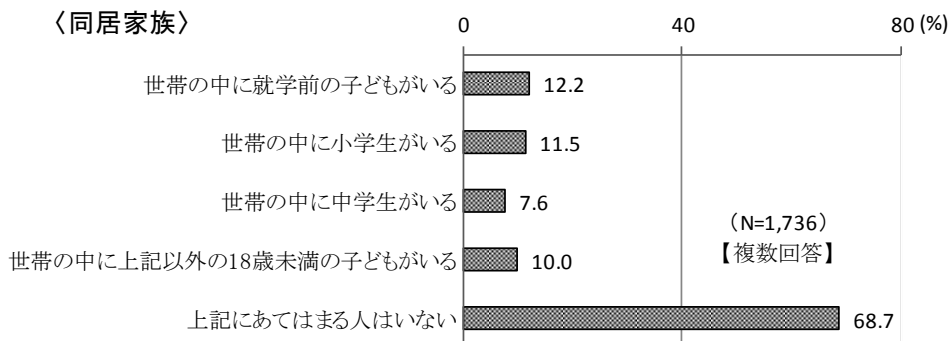
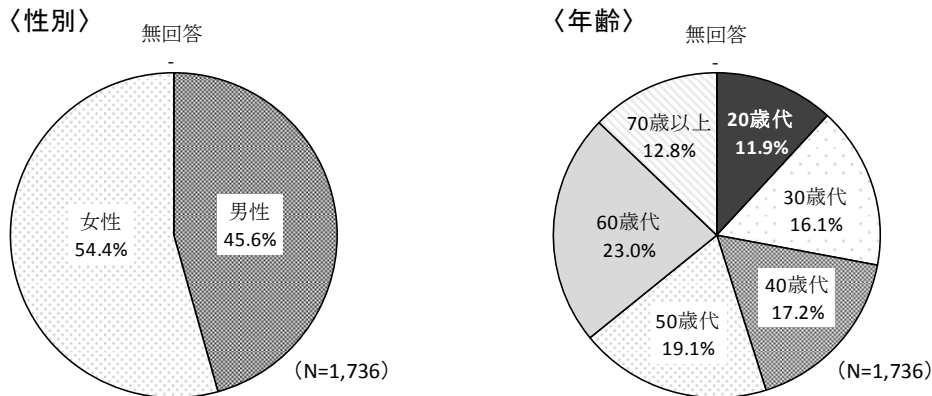
問 久留米市は「全国トップクラスの子育てしやすいまち」をめざしています。
 (A) あなたが、現在久留米市で子育てについて充実していると思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



(B) 今後、久留米市は、どのようなことに特に取り組むべきだと思いますか。次の中から5つまで（4つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



●調査対象者の構成



●ブロック別サンプル構成

ブロック別	配布数	有効回収数	有効回収率
東 部	260	232	89.2%
北 部	320	262	81.9%
中 央 東 部	250	206	82.4%
南 東 部	200	184	92.0%
中 央 部	270	235	87.0%
中 央 南 部	340	299	87.9%
南 西 部	170	150	88.2%
西 部	190	168	88.4%
合 計	2,000	1,736	86.8%

●ブロック別校区名

ブロック	校 区
東 部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北 部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	烏飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西 部	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田

第 39 回（平成 27 年度）
久留米市民意識調査報告書〈速報版〉
平成 27 年 11 月

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課
久留米市城南町 1 5 番地 3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9711
E-Mail. sodan@city.kurume.fukuoka.jp